

大會宣言

今や資本主義の内包する矛盾の激化は都市に於ける工場閉鎖、労働者飢餓、資金枯下、労働の強化となり農村に於ては農産物の生産費以下への下落、小作半強制取立、土地引上、差押を頻發し金融の便通を断絶した。

かかる經濟恐慌暴走の進行は必然的に資本の國內市場の縮小國外市場の直販の増進をもたらし昨年に至つて遂に労働者農民虐殺の帝國主義戦争開始となつたのだが中國分割の爲には大敵も皆ならぬ帝國主義諸國も彼等の共同の敵ソヴェットが軍に關しては完全な共同戦線を張り彼等の敵口は皆一線に労働者農民の卑しい幸福の社會ソヴェット同盟に向つて並べられてゐる面も日本帝國主義はこの共同戦線にまさか先頭に立つてゐるのだ。かくて滅亡の日本資本主義はソヴェットを敵視して労働者農民に對する搾取抑壓偽善を顯れ戦場を造つて自己の利益の爲に彈丸の餌食(註止)

(6.3)

6頁

(6)

日本農民組合九州同盟會第六回大會

一、日時 昭和七年八月十九日 自午前十時五十分 至午後四時

二、會場 福岡市渡邊通六丁目記念館

三、参加人員 六國八名

四、會場に掲げたスローガン

(1) 一層農民の本義に基き搾取を止新日本の建設

(2) 農村資金の充實増産を制定せよ

(3) 餓死線上に彷徨する農民を救へ

(4) 小作農民に土地を無償せよ

(5) 都會上りの搾取を農村へ奪還せよ

五、開會者 九州同盟會主席 櫻 富 後 人

六、大會の次第

(1) 開會の辭

開會者 櫻 富

後 人